

# 選挙に関する世論調査 報告書

令和元年 7 月

大阪市選挙管理委員会

# もくじ

第1章 調査の概要.....	1
(1) 調査の実施概要.....	1
1、調査の目的について.....	1
2、調査設計について.....	1
3、標本の抽出について.....	1
4、調査票の回収状況について.....	1
(2) 信頼区間の推定.....	3
(3) 回答者のおもな属性（標本の構成）.....	4
第2章 調査結果の概況.....	5
(1) “明るく正しい選挙” についての評価（Q1）.....	5
(2) 寄附禁止等の認知状況（Q2）.....	6
(3) 選挙違反の認知状況（Q3）.....	7
(4) 市議選への関心度（Q4）.....	9
(5) 市議会議員選挙の投票状況（Q5）.....	9
(6) 棄権の理由（Q6）.....	10
(7) 投票時間（Q7）.....	11
(8) 投票の理由（Q8）.....	12
(9) 候補者決定の時期（Q9）.....	13
(10) 候補者決定に役立ったもの（Q10）.....	14
(11) 争点・関心（Q11）.....	15
(12) 政党か個人か（Q12）.....	16
(13) 候補者重視の理由（Q13）.....	17
(14) 政党重視の理由（Q14）.....	18
(15) 今回の選挙で接触した活動（Q15）.....	19
(16) 接触した臨時啓発事業（Q16）.....	21
(17) 候補者決定の判断材料（Q17）.....	23
(18) 投票所の利便性について（Q18）.....	24
(19) 開票作業に求める点について（Q19）.....	24
(20) 期日前投票の場所について（Q20）.....	25
(21) 期日前・不在者投票制度認知状況・利用状況（Q21）.....	25
(22) 期日前投票の時間延長について.....	26
期日前投票の時間延長について（Q22-1）.....	26
期日前投票の時間延長の情報源（Q22-2）.....	26
(23) いちばん関心をもつ選挙（Q23）.....	27
(24) これまでの投票状況（Q24）.....	28
(25) 投票義務感（Q25）.....	29

(26) 政治満足度 (Q26)	29
(27) 政治不信 (Q27)	30
(28) 政党支持	31
政党支持 (Q28-1)	31
政党支持の程度 (Q28-2)	31
(29) 後援会加入状況	32
後援会加入状況 (Q29-1)	32
勧誘の有無 (Q29-2)	33
候補者の区分 (Q29-3)	34
(30) 生活満足度 (Q30)	35
(31) 自分の生活と地方政治との関係 (Q31)	35
(32) 投票と地方政治 (Q32)	36
(33) 政治知識の情報源 (Q33)	38
(34) 若年層の選挙について (Q34)	39
(35) 若年層における低投票率の原因について (Q35)	39
(36) 若者の低投票率に対する意見について (Q36)	40
(37) 政治への関心について (Q37)	40
(38) 今回重視した選挙 (Q38)	41
(39) 有権者の意識高揚のための効果的な方法 (Q39)	43
(40) 若年層の意識高揚のための効果的な方法 (Q40)	43
(41) センキョンの認知度 (Q41)	44
(42) 社会属性	45
性別 (Q42-A)	45
満年齢 (Q42-B)	45
住所 (Q42-C)	46
職業 (Q42-D)	46
つながりの強いグループ (Q42-E)	47
住所形態 (Q42-F)	48
居住期間 (Q42-G)	48
大阪への愛着 (Q42-H)	49
第3章 調査結果の分析	50
3-1 投票参加の状況と要因	50
(1) 今回の投票・投票履歴・市議会議員選挙への関心	50
(2) 社会属性等からみた投票参加	51
(3) 心理的要因からみた投票参加	53
(4) 組織加入からみた投票参加	57
(5) 情報環境からみた投票参加	58
(6) 投票者の行動と考え方	60

(7) 棄権者の行動と考え方.....	62
3-2.心理的要因.....	64
(1) 投票義務感.....	64
(2) 政治満足度.....	65
(3) 支持政党の有無および政党支持の程度.....	66
(4) 投票が地方政治に反映するという意識（有効性感覚）.....	68
(5) 関心を持つ選挙.....	70
3-3.組織への加入.....	71
(1) 後援会への加入と勧誘.....	71
3-4.情報環境.....	73
(1) 情報の充実度.....	73
3-5.選挙管理委員会・明るい選挙推進のとりくみ.....	76
(1) 投票時間.....	76
(2) 投票所の利便性についての評価.....	77
(3) 開票作業に求める点.....	78
(4) 期日前・不在者投票制度等の認知・利用状況.....	80
(5) 寄附禁止等・選挙違反の知識.....	81
(6) 投票率の今後.....	85
(7) 選挙権年齢引下げへの評価.....	90
(8) 今回重視した選挙.....	91
(9) センキョンの認知度.....	92
附 調査票.....	93

## 第1章 調査の概要

### (1) 調査の実施概要

#### 1、調査の目的について

- ・本調査は平成31年4月7日に執行された統一地方選挙において、大阪市議会議員選挙を中心に大阪市民の投票行動の実態及び選挙時に関する意識調査（以下「調査」という。）を実施し、今後の業務に役立てることを目的とする。
- ・また、本調査は、昭和54年4月8日、同58年4月10日、同62年4月12日、平成3年4月7日、同7年4月9日、同11年4月11日、同15年4月13日、同19年4月8日、同23年4月10日、同27年4月12日に施行された過去10回の統一地方選挙に際して実施された調査結果と比較して、時系列での推移を明らかにすることも併せて目的としている。

#### 2、調査設計について

①調査対象	市内居住の有権者 3,000人
②調査方法	郵送による配布・回収
③調査期間	予告はがき発送 平成31年(2019年)4月5日(金)
	調査票発送 平成31年(2019年)4月8日(月)
	催促はがき発送 平成31年(2019年)4月17日(水)
	調査票締切 平成31年(2019年)4月19日(金)
	調査票回収完了 令和元年(2019年)5月10日(金)

#### 3、標本の抽出について

- ・選挙人名簿からの無作為二段抽出により、3,000標本を抽出する。
- ・平成30年12月3日現在における大阪市の選挙人名簿登録者数2,223,535人から、各行政区ごとに有権者数に比例して投票区数（調査地点数）および標本数を割り当てた。
  - 第一次抽出単位：投票区  
各行政区に割り当てられた数の投票区を乱数表により無作為に100地点を抽出。
  - 第二次抽出単位：有権者  
投票区（調査地点）ごとに、等間隔に30名ずつ抽出。
- ・各行政区ごとの標本割当計画は、次頁表1の通りである。

#### 4、調査票の回収状況について

- ・3,000票を発送し、返送されてきた調査票は1,137票、うち無効票は9票、有効回収数は1,128票である。
- ・宛先不明で返送されてきたものは60票あり、調査票が到着したと推定される2,940票に対する有効回収率は38.4%である。次頁表2を参照。
- ・全3,000票に対する回収率は37.6%と、前回の32.2%より高く、前々回の40.0%より低くなっている。
- ・また、次頁表3のように、回収不能分のうち、電話によりその理由について連絡があったものが7件あった。

表 1 標本割当計画表

行政区	有権者数	構成比	割当地点数	割当標本数
北区	107,449	0.0483	5	150
都島区	87,274	0.0393	4	120
福島区	62,364	0.0280	3	90
此花区	55,889	0.0251	2	60
中央区	80,735	0.0363	4	120
西区	80,759	0.0363	4	120
港区	68,038	0.0306	3	90
大正区	55,649	0.0250	2	60
天王寺区	59,954	0.0270	3	90
浪速区	53,427	0.0240	2	60
西淀川区	79,555	0.0358	4	120
淀川区	149,420	0.0672	7	210
東淀川区	143,997	0.0648	6	180
東成区	65,643	0.0295	3	90
生野区	86,773	0.0390	4	120
旭区	76,760	0.0345	3	90
城東区	139,829	0.0629	6	180
鶴見区	90,433	0.0407	4	120
阿倍野区	89,526	0.0403	4	120
住之江区	102,872	0.0463	5	150
住吉区	127,940	0.0575	6	180
東住吉区	109,276	0.0491	5	150
平野区	160,898	0.0724	7	210
西成区	89,075	0.0401	4	120
計	2,223,535	1.0000	100	3,000

表 2 回収状況

配布数	返送数	有効 配布数	回収数	無効数	有効 回収数	有効 回収率
3,000 票	60 票	2,940 票	1,137 票	9 票	1,128 票	38.4%

表 3 回収不能に係る連絡内容

・当人の病気等	4 件	・高齢のため	2 件
・宛先間違い	1 件		

(2) 信頼区間の推定

- ・本調査は標本調査であるので、標本抽出における誤差等を考慮する必要がある。
- ・通常、世論調査などでは、信頼度 95% (同一の調査を 100 回行えば 95 回まではこの結果になるであろうという推定) のレベルを求めるのが一般的であり、これに基づく標本推定値の標本誤差の近似値は、次の公式で求められる。

標本誤差 = ±1.96	$\sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(100-P)}{n}}$	<p>N = 2,223,535 (母集団数)</p> <p>n = 1128 (有効回収調査票数)</p> <p>P = 回答の比率 (標本測定値)</p>
--------------	--	---

表 4 信頼度 95%における主要な%の信頼区間

回答の比率	95	90	85	80	75	70	65	60	55	50
	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
誤差	±1.69	±2.32	±2.77	±3.10	±3.35	±3.55	±3.69	±3.79	±3.85	±3.87

(単位：%)

【標本誤差の見方】

- ・例えば、ある質問で、全体の回答が 80%であった場合、80%を中心に±3.1%、つまり、真の値は 76.9%から 83.1%の間にあると推定してよいが、その推定の正しい確率は 95%程度である。
- ・また、上記の表は、回答の比率を 5%刻みで表示しているが、回答が 78%のように途中である場合は、上記の表から最も近い 80%における数値を読み取り、この数値から類推し使用すればよい。

(3) 回答者のおもな属性（標本の構成）

全体(1128票)		N	%	全体(1128票)		N	%
性別	男性	551	48.8%	居住期間別	生まれてからずっと住んでいる	419	37.1%
	女性	543	48.1%		10年以上、住んでいる	534	47.3%
	不明	34	3.0%		5年以上10年未満、住んでいる	51	4.5%
年齢別	18歳	3	0.3%	愛着度別	3年以上5年未満、住んでいる	32	2.8%
	19歳	3	0.3%		3年未満、住んでいる	25	2.2%
	20～24歳	21	1.9%		不明	67	5.9%
	25～29歳	19	1.7%		非常に愛着をもっている	600	53.2%
	30～39歳	81	7.2%	ある程度愛着をもっている	383	34.0%	
	40～49歳	132	11.7%	どちらともいえない	53	4.7%	
	50～59歳	181	16.0%	あまり愛着をもっていない	19	1.7%	
	60～69歳	248	22.0%	まったく愛着をもっていない	6	0.5%	
	70歳以上	410	36.3%	不明	67	5.9%	
	不明	30	2.7%				
職業別	自営業主およびその家族従事者	183	16.2%	つながりの強いグループ別	町内会	347	23.6%
	公務員、教員	23	2.0%		女性団体	35	2.4%
	民間会社勤務・事務	125	11.1%		老人会(老人クラブ)	87	5.9%
	民間会社勤務・現業	102	9.0%		青年会	10	0.7%
	民間会社勤務・管理職	61	5.4%		趣味のグループ	155	10.6%
	医師、弁護士などの自由業者	47	4.2%		スポーツのグループ	98	6.7%
	その他の自由業者	87	7.7%		旅行などレクリエーションのグループ	34	2.3%
	学生	16	1.4%		労働組合	19	1.3%
	無職	410	36.3%		職場のサークル	27	1.8%
	不明	74	6.6%		同業団体・商店会など業者団体	37	2.5%
					宗教団体	54	3.7%
					政治団体	13	0.9%
居住形態別	持ち家(一戸建)	639	56.6%	学術団体・文化団体	16	1.1%	
	持ち家(マンション等)	171	15.2%	消費者団体	5	0.3%	
	賃貸(公営、公団等)	76	6.7%	社会事業団体	25	1.7%	
	賃貸(民間)	148	13.1%	その他	30	2.0%	
	社宅・寮等	11	1.0%	とくにかかわりをもつ団体などはない	476	32.4%	
	その他	10	0.9%				
	不明	73	6.5%				